



# ラピュタ通信

【発行】  
特定非営利活動法人  
ラピュタ創造研究所  
〒915-0074 福井県  
越前市蓬萊町 5-1  
TEL 0778-21-3190

## ■農場プロジェクト、スタート！

### スイカ・雑穀・サツマイモ・落花生・ハーブを育てるぞ！

今年5月から、いよいよ「ラピュタ農場プロジェクト」がスタートしました。場所は、越前市白山地区丸岡にあります。武生の街中の暮らしをテーマにしているラピュタが、何で農業なの？という声が聞こえてきそうですね。でも、長年まちづくり活動をしてきたラピュタにとっては、とても自然なことなのです。町と田舎の良いところを活かしあえる、豊かな暮らしを実現したいと考えています。そこで、まずは地元の田舎で農業プロジェクトをスタート。見よう見まねの農業体験です。

### ■おばあちゃんとの会話も楽しい農作業

何から何まで初めてづくし。農作物を育てるひとつひとつの作業が理にかなって、気づきがいっぱいです。そして、思いもかけず楽しいのが、近所の畑で農作業しているおばあちゃんとの会話です。おばあちゃんたちは、私たちの畑の前をゆっくりと歩きながら帰るのですが、そのとき「もう、そろそろ終わんなさいの～」なんて、必ず声をかけてくれます。最近雨が降らないと心配して、せつせつと水撒きしてたら、「明日雨降るう～。水は撒かんでもいいわのう。・・・うーん、確かにそうだ。私たちが雑穀を育てると聞いて、「私ら、白いご飯が一番やわあ。」うーん。。。(; 雑穀料理研究会の活動をもっと頑張っ、おいしい雑穀料理を作れるようになるうね、みんな。。。

### ■ウソじゃないよ！人生で一番甘～いスイカの味を体験！

そんな私たちは、真夏の8月12日に、炎天下のもとスイカの収穫に汗を流しました。そこで採れたスイカの甘いこと！スイカが苦手なスタッフも絶賛。今年の夏は、スイカに埋もれた暑い夏を過ごしました。



初めてのスイカ栽培に挑戦！極上の甘～いスイカの収穫に、疲れも吹っ飛びます



春に植えたハーブは元気に育ってます。ティーにクッキーにパスタに大活躍の予感

ラピュタ  
otonaの文化祭 2007  
10/1(月)～14(日) <http://laputa21.exblog.jp/>

武生の暮らし方

10月1日(月)	10月2日(火)	10月3日(水)	10月4日(木)	10月5日(金)	10月6日(土)	10月7日(日)
10月8日(月)	10月9日(火)	10月10日(水)	10月11日(木)	10月12日(金)	10月13日(土)	10月14日(日)

ptonaの文化祭 2007 ブログ  
<http://laputa21.exblog.jp/>

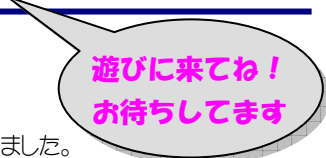
## ■otonaの文化祭 2007開催！ 2007/10/1～14

### 武生の暮らし方を見つめる14日間。

今年で5回目を迎える「ラピュタotonaの文化祭」。

『武生の暮らし方 衣食住』をテーマに、15のイベントが集まりました。

○「癒しのマーケット」は、府中町屋倶楽部、ラグガキ屋、ラピュタショップで、心も体もほっとする癒しのメニューが揃います。○いずれはラピュタ農場で収穫した材料で安心・安全・おいしいメニューが提供できることを夢見て、ご近所のカフェ・ラグタイムから「麦とろ飯」のメニューが登場します。○プラス、雑穀を入れた「雑っこクッキー」にも挑戦。どうぞ期待！○たんなん夢レディオのサテライトスタジオからお送りする、「おとなのRadio」は、武生の暮らし方をテーマにした番組を生放送。○恒例となった「きもの de 来武」は、会場を旧料亭・春駒に移し、建物見学も含めた特別バージョンでお送りします。その他、○「町歩きツアー」、○町をテーマにした劇団13番街の劇「まちさん」、○越前焼陶芸家であり、現代アート作家でもある堀さんのオブジェが並ぶ「堀明彦造形展」、○辻風の「続・はじめまし展」、○駅前素敵なギャラリーwaoでは色彩の抽象画家「三田村和男展」、○毎月ラピュタで開催中の体ほぐしの会からはスペシャルバージョンで「動く瞑想会」があります。いろいろな企画が目白押しです。秋の蔵の辻界隈に、お友達やご家族を誘って、ぜひおいで下さい。



# 壱の市にお出で下さい

## 毎月第1日曜日は「壱の市」



商店街の女将さん会も大活躍

今年4月から始まったフリーマーケット「壱の市」(いちのいち)は、毎月第1日曜日の開催です。蔵の辻が会場です。壱の市実行委員会が主催しています。毎回、素敵なカフェとフリーマーケット、子どもの遊びコーナーなど、ゆっくりと過ごしていただく仕掛けをつくっているゆったりとしたフリーマです。

ラピュタは毎回フリーマーケットで参加しています。不用品をお客さんが値段をつけて販売する「もってけ市」や、手作りの品、ラピュタ農場でとれた農産物などを販売。気が向くとニツカフェを開いたり、お客さんとコーヒーを飲みながら話を花を咲かせたりと、参加すること自体を楽しんでいます♪ 蔵に囲まれたオープンカフェでそよ吹く風に吹かれながら会話を楽しむのも、大人の贅沢ですね。

壱の市スタッフも、毎回趣向をこらした楽しい企画を立てて、皆さんのおいでをお待ちしています。皆さん、散歩がてら遊びにいらしてください。出店者も募集中です。(注: 10月は第2日曜日の開催です。)

### フリーマーケット 壱の市ブログ

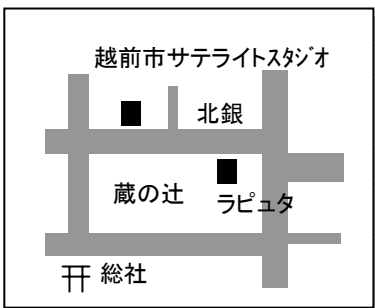
<http://ameblo.jp/1-ichi/>

# 79.1Mhz

## たんなん夢レディオ 「越前市サテライトスタジオ」オープン

鯖江に本拠地があるコミュニティラジオ局「たんなん夢レディオ」のサテライトスタジオが、ラピュタのご近所にオープンしました。以前に、力のある街づくりのために自分たちのメディアを持ちたいと、ラジオの実験放送を2度試みたことがあるラピュタにとっては、待ちにまった出来事でした。現在は、毎週数番組を定期的にサテライトスタジオから放送されています。武生の街中がどう活用していくか、これからが楽しみです。

さっそくですが、ラピュタは「otonaの文化祭」の期間中に、自分たちでつくるラジオ番組を放送することにしました。たんなんFM様や、まちづくりにご理解のある蔵の辻界隈のお店のご協力を得て、なんと1時間番組「お・と・なのRadio」を4日にわたり放送します。みなさん、ぜひお聴きください。



## コラム第1回 国府論争・ラピュタ説はやっぱり武生

昨年十月、JR北陸や線が敦賀駅まで直流化され、県内の注目が敦賀に集まる中、越前国府敦賀説が再浮上してきた。越前国府は、奈良時代には敦賀にあり、平安時代に武生に移転した、というのである。この敦賀説は、平成二年頃に敦賀市文化財保護審議会委員の水野和雄さんによって一度提示されたが、武生説の人たちの猛烈な反論に会い、葬り去られたと思っていた。

私が理事を務めるラピュタ創造研究所は、武生・蔵の辻の一面にその事務所があり、武生の風土に合った持続可能なライフスタイル、特に衣食住の在り方を見つけていこうというNPO法人である。同時に自分たちの周りの環境と政治と歴史も勉強しようという随分取扱問口の広い、欲張りな団体である。これまでも武生の埋もれた歴史のいくつかを掘り起こしてきたが、武生の歴史の背骨である国府が武生でなく敦賀にあったとか、「たけふ」は古代の武生の地名でなく敦賀の地名だと言われては、捨て置けない。みんなで越前国府の勉強を開始することにした。プロジェクト名は、「太介不乃己不をさがせ!」にした。これは、平安時代の流行歌集「催馬楽」に出てくる「たけふ」という地名の起源となった歌の一部からとったものである。

それにしても、一度ならずも二度までもへこたれずに敦賀説を唱える水野さんの言い分をまず聞くことにした。水野さんは、敦賀からの応援団も連れてラピュタにやってきた。敦賀説も聞けばなるほどと思ってしまう。

そのうち、国府勉強会のことを新聞で知った福井大学の門井直哉さんから手紙をいただき、「初期越前国府は、武生でも敦賀でもない、味真野にあった」という新説が論争に加わることになった。これらの勉強を踏まえてラピュタ説を掲げることにした。すなわち、越前国成立以前の越の国の時代には初期国府的性格の役所が敦賀にあった可能性はあるが、越前国成立後には武生近辺に国府が置かれ、何度も移転しながら、最終的には現在の武生の中心市街地に落ち着いた、と想定している。敦賀説と味真野説のいいとこ取りの気配もあるが、結構事実を言い当てているのではないかと、自画自賛している。

このラピュタ説を考古学的に証明するために、武生の街中での発掘が不可欠である。少年の時の発掘マニアの血が騒ぎ出した。

ラピュタ理事 井上和治

※このコラムは、中日新聞・日刊福井の「越前春秋」に掲載されたものです。次号では、第2回を掲載します。

**2007年度会員募集中です! 4月~3月**  
正会員 10,000円/年 賛助会員 3,000円/年  
詳しくはラピュタまでお問合せください。

私たちは、持続可能な地域社会をめざします

**Laputa**  
〒915-0074 福井県越前市蓬萊町5-1  
TEL 0778-21-3190 FAX 0778-21-0676  
e-Mail info@laputa21.com  
ホムペ -ジ- http://laputa21.com/

